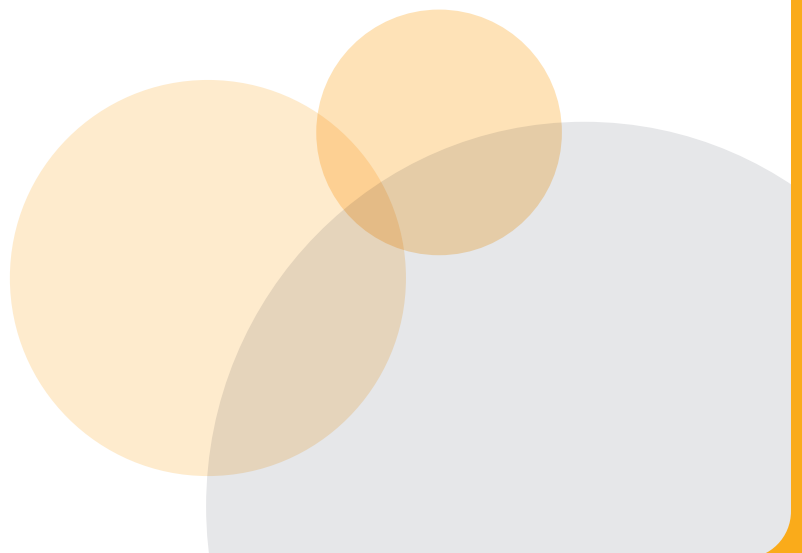


第2部

基本構想

- 1 箕輪町の将来像
- 2 人口減少時代への挑戦“箕輪チャレンジ”
- 3 施策体系



みんなで創る、 未来につながる、 暮らしやすい箕輪町

—人口減少時代への挑戦“箕輪チャレンジ”—

箕輪町でも平成22年（2010年）頃から自然減を中心とした人口減少・少子高齢化が顕著となり、まさに時代の転換期を迎えています。

今後は、生産年齢人口の減少による税収減や、担い手不足による地域コミュニティの弱体化等、様々な問題が懸念されます。

箕輪町第5次振興計画では、箕輪町の総合計画としては初めて人口減少を想定する中で、町民が望む、「箕輪町の将来像」の実現に向けて、町民の理解、協力のもと、新しい時代に対応したまちづくりを進めていきます。

<第5次振興計画の基本理念>

- これまでの取組みを振り返りながら、町民が一丸となり、「**みんなで創る**」まちづくりを進めていきます。
- 先人が長年かけて築き上げた暮らしやすさが、「**未来につながる**」まちづくりを進めていきます。
- 人口減少社会となっても、誰もが住みたい町、住み続けたい町であり続けるため、「**暮らしやすい箕輪町**」を実現するまちづくりを進めていきます。

(1) 箕輪チャレンジの概要

第5次振興計画は、箕輪町として初めて人口減少を想定する中で作られた総合計画です。人口が減少する時代では、公共事業や社会保障を支える税収の減少や、高齢化による社会保障費の増大、担い手不足による地域コミュニティの弱体化など、私たちの暮らしを脅かす様々な課題が想定されますが、そのような中でも、先人が長い年月をかけ築き上げてきた暮らしやすさを、未来につなげていかなければなりません。

第5次振興計画では、その理想の実現に向けて、行政と町民みんなが心をつなげて人口減少時代に挑戦する“箕輪チャレンジ”に取り組みます。

箕輪チャレンジでは、具体的な目標「チャレンジ目標」を設定し目的を共有するとともに、目標達成を強力に進める重点プロジェクトを定めます。

(2) チャレンジ目標

チャレンジ目標は、人口減少時代における将来の暮らしやすさをテーマに、二つの目標を設定しています。

チャレンジ目標① 人口減少時代に即した暮らしへの転換

人口減少時代においては、今までのまちづくりのやり方や、私たち一人ひとりの暮らしを転換しなければならないと考えます。チャレンジ目標を「人口減少時代に即した暮らしへの転換」に設定し、次の二つの視点に立って、平成26年（2014年）に66.1%だった住民満足度を70%に上げることを目標とします。

視点① 現在の暮らしやすさの維持

様々な課題により、今までどおりの行政運営や、まちづくりのやり方では、暮らしやすさを維持することが難しくなっています。新しい時代に即した行政運営に切り替えるとともに、町民が一丸となって知恵や力を出し合って取り組むまちづくりに転換することにより、「現在の暮らしやすさの維持」を目指します。

視点② 箕輪ならではの豊かさの追求

「豊かな自然と雄大な景観」「悠久の歴史文化」「助け合いの精神がある地域社会」「安全・安心な生活」「みんなで子どもを育む精神とその取組み」。私たちが本当に大切にしたい「箕輪ならではの豊かさ」はこういったものにあるのではないのでしょうか。経済性や利便性の様な都会的な豊かさは、箕輪町では叶えられないものもありますが、この「箕輪ならではの豊かさ」の実現こそ、私たち一人ひとりが本当の意味で幸福を実感できるものと考え、追求していきたいと考えます。

目標値設定の解説

平成 26 年(2014 年)に実施した住民満足度調査によれば、箕輪町の生活に対し「かなり満足」「まあまあ満足」と答えた人は 66.1%でした。目標値を 70%としたのは、現在の暮らしやすさに加え、箕輪ならではの豊かさを追求して満足度を上げよう目指しているからです。

チャレンジ目標② 将来の暮らしやすさを守る人口規模の維持

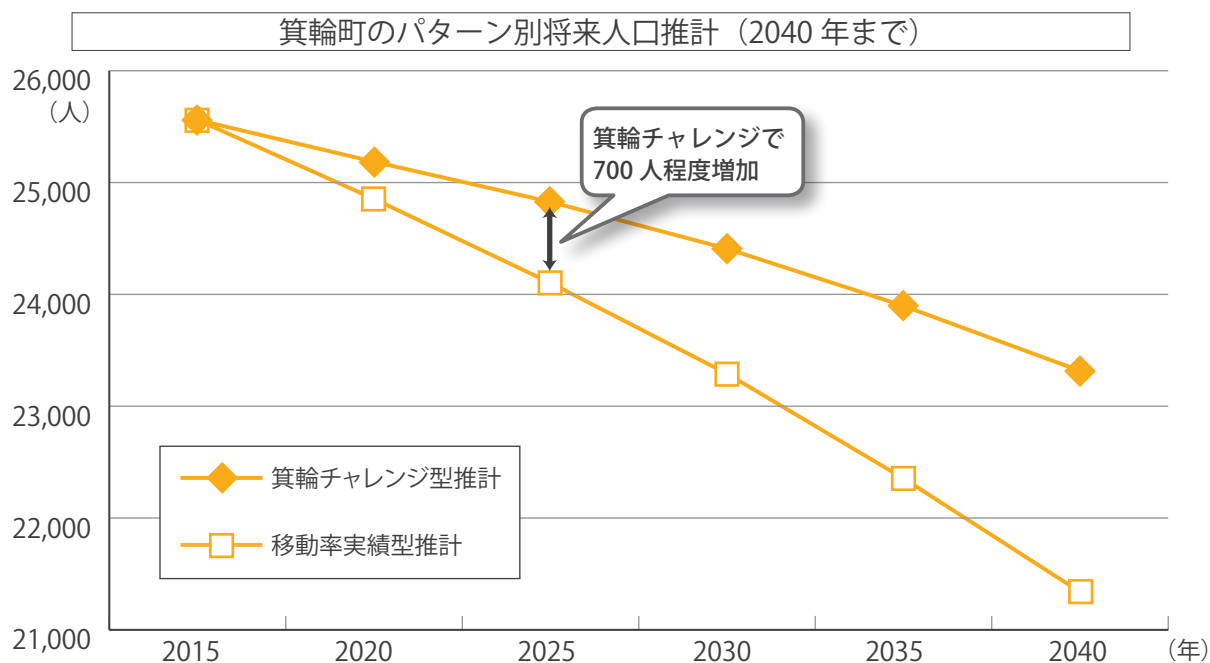
今までの人口増加を上回る急激な人口の減少は、私たちの生活を支える社会保障の仕組みや、地域のコミュニティを崩壊させてしまうことから、人口減少時代に即した暮らしへの転換と同時に、「将来の暮らしやすさを守る人口規模の維持」も重要であると考えます。これまでの傾向が続けば、平成 37 年(2025 年)には 24,100 人程度まで減少すると予想されている人口を以下の二つにより、**24,800 人以上に維持すること**を目標とします。

人口の自然増(出生数増加を目指す)

出会い・結婚の支援や、出産・子育てに係る安心感の向上などにより、人口の自然増を目指すものとし、目標人口の達成に必要な合計特殊出生率 1.80 を目標に取り組みを進めます。

人口の社会増(転入者数増加及び転出者の減少を目指す)

雇用の創出や、住環境の整備、町の魅力発信などにより移住・定住を促進し、人口の社会増を目指します。目標人口の達成に必要な、転入者数を毎年 48 人増やす(2015 年を基準として)ことを目標とします。



目標値設定の解説

箕輪チャレンジ型推計の出生数については、国の総合戦略で示された期待値、合計特殊出生率（1.80）を用いて算出しています。

【箕輪チャレンジ推計における将来の合計特殊出生率の見込み】

	2015年	2020年	2025年
合計特殊出生率	1.48 未満	1.65	1.80
年間出生数	190人	208人	218人
15～49歳女性人口	4,902人	4,757人	4,501人

箕輪チャレンジ型推計の転入者数については、平成22年（2010年）～平成27年（2015年）の実績による人口移動率に、Uターンによる転入者を増加させて推計しました。

17歳を対象にした箕輪町少子化対策町民意識調査（平成26年12月）によれば、「箕輪町で暮らし続けたい」「1度は町外に出ても、いずれは箕輪町に帰って暮らしたい」という回答が70%を超えています。そこでこの回答率をもとに、将来のUターン者を見込みました。

Iターンについては、年代別に年間1世帯程度が増えるの見込みました。

【箕輪チャレンジ推計における将来の転入者増加の見込み】

	箕輪チャレンジ型推計
現状 (a)	5～14歳転入者数：39人 20～34歳転入者数：327人 35～54歳転入者数：240人 55～64歳転入者数：46人 (出典：箕輪町「2014年住民基本台帳」)
Uターン対策 (b)	若年者：30人 子育て世帯：2世帯 8人 退職後夫婦：1夫婦 2人
Iターン対策 (c)	若年者の配偶者：2人 子育て世帯：1世帯 4人 退職後夫婦：1夫婦 2人
U+Iターン計 (b+c)	48人/年
年間希望転入者数 (a+b+c)	5～14歳転入者数：45人 20～34歳転入者数：359人 35～54歳転入者数：246人 55～64歳転入者数：50人

(3) 重点プロジェクト

“箕輪チャレンジ”で掲げるチャレンジ目標の達成に向けて、基本計画の施策のほか、重点的に取り組むプロジェクトを設定します。

重点プロジェクトは、戦略的な予算配分により、行政事業として優先的に実施されるとともに、行政機関内で横断的に取り組みます。また、町民の役割も定め、他の施策以上に、行政と町民が一体となって進めることとします。

①重点プロジェクト

重点プロジェクトは、以下のとおりで、個別の内容はシートに示します。

チャレンジ目標① 『人口減少時代に即した暮らしへの転換』を目指して

- | | |
|----------------|-----------------|
| ① 町民参画促進チャレンジ | ② 集落パワーアップチャレンジ |
| ③ 健康寿命延伸チャレンジ | ④ 新時代の行政運営チャレンジ |
| ⑤ 地域内資金循環チャレンジ | ⑥ 教育力向上チャレンジ |
| ⑦ 安全・安心チャレンジ | ⑧ 地域の絆再生チャレンジ |

チャレンジ目標② 『将来の暮らしやすさを守る人口規模の維持』を目指して

- | | |
|------------------|-----------------|
| ⑨ ハッピーサポートチャレンジ | ⑩ 子育て安心チャレンジ |
| ⑪ 移住・定住促進チャレンジ | ⑫ 公共交通活性化チャレンジ |
| ⑬ 緑のエネルギー活用チャレンジ | ⑭ 箕輪の農業応援チャレンジ |
| ⑮ 商工業活性化チャレンジ | ⑯ 箕輪町知名度向上チャレンジ |
| ⑰ ふるさと愛着応援チャレンジ | |

②シートの見方

1

チャレンジ目標①
『人口減少時代に即した暮らしへの転換【現在の暮らしやすさの維持】』

みの
チャレ

2

「出航！みのわ丸 2025」町民参画促進チャレンジ

3

目的

箕輪町を「みのわ丸 2025」と名付けた船に例え、「町に暮らすみんなは、同じ船に乗る運命共同体なのだ」というまちづくりへの想いを広めていきます。一人ひとりのまちづくりへの関心と理解を進め、町民の知恵・力を十分に発揮できるまちづくりを進めます。

4

目標

- ・住民参画による政策研究会の回数：10回/年
- ・政策提案数：3件/年

5

概要

町の課題や現状を共有し、理解する町民を増やすとともに、解決に向けて、政策研究への参画や、協働の取り組みの拡大を進めます。

- ① 広報・広聴の充実（情報公開強化）
- ② 住民参画による政策研究会（住民参画）
- ③ 政策提案制度（住民参画）
- ④ 政策提案・政策研究による事業 他

6

町民の役割

『私』ができること

- ・まちづくりに関心を持つ
- ・できることからまちづくりへの参加を行う

7

『みんな』ができること

- ・政策研究への参加、協力
- ・積極的な政策提案を行う
- ・提案事業の実施に協力する

8

【基本計画関連施策】

第1章 - 第1節 - 施策4, 5, 7 P53
- 第4節 - 各施策 P59 他

1 チャレンジ目標

関連するチャレンジ目標です

2 タイトル

プロジェクトタイトルです

3 目的

プロジェクトのねらいを示しています

4 目標

具体的な到達目標を示しています

5 概要

プロジェクトの概要です
未定なものは取組みの例が示されています

6 『私』ができること

個人でできる取組み例を示しています

7 『みんな』でできること

団体や仲間でする取組み例を示しています

8 基本計画関連施策

基本計画に記載されている関連施策を示しています

1

チャレンジ目標①
—人口減少時代に即した暮らしへの転換【現在の暮らしやすさの維持】—

「出航！みのわ丸 2025」町民参画促進チャレンジ

目的

箕輪町を『みのわ丸 2025』と名付けた船に例え、「町に暮らすみんなは、同じ船に乗る運命共同体なのだ」というまちづくりへの想いを広めていきます。一人ひとりのまちづくりへの関心と理解を進め、町民の知恵・力を十分に発揮できるまちづくりを進めます。

目標

- ・住民参画による政策研究会の回数：10回 / 年
- ・政策提言数：3件 / 年

概要

町の課題や現状を共有し、理解する町民を増やすとともに、解決に向けて、政策研究への参画や、協働の取組みの拡大を進めます。

- ① 広報・広聴の充実（情報公開強化）
- ② 住民参画による政策研究会（住民参画）
- ③ 政策提案制度（住民参加）
- ④ 政策提案・政策研究による事業 他

町民の役割



『私』ができること

- ・まちづくりに関心を持つ
- ・できることからまちづくりへの参加を行う



『みんな』でできること

- ・政策研究への参加、協力
- ・積極的な政策提案を行う
- ・提案事業の実施に協力する



【基本計画関連施策】

第1章	—	第1節	—	施策4, 5, 7	P53
			—	第4節	—	各施策
					P59 他

2

チャレンジ目標①
—人口減少時代に即した暮らしへの転換【現在の暮らしやすさの維持】—

「集落再熱！」集落パワーアップチャレンジ

目的

人口の減少や区・常会の未加入などを原因とする担い手の減少、つながりの希薄化など地区が抱える課題を解決するための取組みを行うことで、地域内の人と人とのつながりを深め、災害や防犯に強い安全・安心な地域をつくります。

目標

- ・区が提案する自主的な取組み数（1区1取組み以上）
- ・モデル地区で設定した目標の達成

概要

地区内人口の増加や地域の行事への参加促進など、地域の課題解決のための、区の自主的な事業実施への支援と、地区を限定した区と町が協同で行う試行的な取組み（モデル事業）を実施することで、効果のある取組み事例を共有し、他の地区での取組みにつなげます。

《区の自主的な事業》

- ① 区への説明
- ② 地域支援スタッフの配置
- ③ 区議会等での検討
- ④ 地域活性化交付金
- ⑤ 事業実施
- ⑥ 効果検証
- ⑦ 情報の共有 他

《モデル事業》

- ① モデル地区の募集・選考
- ② 集落支援員の配置
- ③ 区・町協議会の設置
- ④ 地域活性化交付金
- ⑤ モデル事業実施
- ⑥ 効果検証
- ⑦ 情報の共有 他

町民の役割



『私』ができること

- ・日頃からの地域内でのあいさつ
- ・地域の行事等への積極的な参加や隣近所等での誘い合い
- ・消防団の加入など地域内の組織に積極的に関わる



『みんな』でできること

- ・隣近所や常会など地区として取り組める試みを検討する
- ・常会などでは取り組めないが、区として取り組める試みを検討する



【基本計画関連施策】

第1章 — 第1節 — 施策6 P53

3

チャレンジ目標①
—人口減少時代に即した暮らしへの転換【現在の暮らしやすさの維持】—

「ありがとう！健康」健康寿命延伸チャレンジ

目的

「ありがとう！健康」一人ひとりの健康は、個人の幸せのみならず、家族や地域、社会にとっての幸せでもあるという意識を広めていきます。一人ひとりが積極的に参加できる健康づくりの普及で、健康寿命を延ばし、町全体として医療費の削減を目指します。

目標

- ・健康づくりに係る事業への参加者数の増加

概要

男女・年齢を問わず、地域や企業で、食生活改善や運動等、誰もが参加しやすい健康づくりのための仕組みづくりを行います。

- ① 特定健診・がん検診の受診率向上のための取組み
- ② 企業等の協力を得て働きながらの健康づくり
- ③ 各種団体との連携による地域活動の活性化
- ④ 子どもの頃から健康に関心を持ってもらうための取組み
- ⑤ 健康ポイント制度（健康づくりへのきっかけづくり）
- ⑥ ウォーキングの普及（地区ごとのウォーキングロードの設定等）
- ⑦ みのわ健康アカデミー（集中的な改善プログラム） 他

町民の役割



『私』ができること

- ・健康に関心を持つ
- ・健康づくりの実践
- ・健康づくりを共に行う仲間づくり
- ・健康ポイントの利用・普及



『みんな』でできること

- ・企業、団体としての協力
- ・みのわ健康アカデミー OB 会として健康づくりの普及に協力

【基本計画関連施策】

- | | | | | | |
|-----|---|-----|---|--------------------|----------------------|
| 第2章 | — | 第1節 | — | 施策 1, 2, | P63 他 |
| | | | | — 第5節 | — 施策 2 P68 |
| 第6章 | — | 第3節 | — | 施策 2, 3 | P96 他 |

4

チャレンジ目標①
—人口減少時代に即した暮らしへの転換【現在の暮らしやすさの維持】—

「行政発新！」新時代の行政運営チャレンジ

目的

新しい時代のまちづくりを示した第5次振興計画を着実に進めるための、行政運営の見直しを進めます。町民と共にまちづくりを進めるため、町民に信頼される行政であるよう、行政運営の向上に努めます。

目標

- ・ 振興計画 - 予算編成 - 確実な実施 - 評価見直しが連動した運営の仕組みの確立
- ・ 業務量の見直しと定員の適正化
- ・ 職員の能力向上
- ・ 適切な組織体制の構築
- ・ 町民の参加による対話型行政運営の実現

概要

第5次振興計画の着実な推進に向け、現在の行政運営の点検・見直しを行います。

- ① 広報・広聴の充実（情報公開強化）【再掲】
- ② 振興計画に基づく政策評価・事業評価の確立
- ③ 従来業務の見直しから時代に即した業務への移行
- ④ 新業務への対応力を高める職員研修等の人材育成
- ⑤ 計画推進に向けた組織体制の構築 他

町民の役割



『私』ができること

- ・ 行政情報に関心を持つ
- ・ 気づいたことは町に意見を伝える
- ・ アンケート調査等に協力する



『みんな』でできること

- ・ ワークショップ型会議への参加
- ・ 外部評価者としての参加



【基本計画関連施策】

第1章 — 第4節 — 各施策 P59 他

5

チャレンジ目標①
—人口減少時代に即した暮らしへの転換【現在の暮らしやすさの維持】—

「みのわマネーサイクル」地域内資金循環チャレンジ

目的

箕輪町内を中心に地域内での生産・流通・消費（サービス等含む）の流れをつくり、お金を地域内で循環させることにより、地域経済の活性化と魅力ある事業者の増加を図り、町民の暮らしやすさの向上を目指します。

目標

- ・地域内で使用されるお金を増やす（地域外で使用されるお金の1%を毎年地域内へ）

概要

箕輪町内を中心に、地域内での生産・流通・消費（サービス等含む）の流れをつくり、これまで地域外に流出していたお金が地域内で回る仕組みづくりを進めます。

例) 「町内産農畜産物の優先購入（地産地消の推進）」、「間伐材を含む地元産の木材等の利用促進」、「木質バイオマス利用や小水力発電など、町内でのエネルギー自給」等を進める仕組みづくり

- ① 調査会社等による家計の調査・分析及び政策のコンサルティング委託
- ② 産官金等、実務者による研究会設置（仕組みづくり）
- ③ 仕組みの普及等効果促進事業（イベント・発信など） 他

町民の役割



『私』ができること

- ・地域内でできるだけお金を使う



『みんな』でできること

- ・地域内での積極的な取引
- ・地域内で調達できるモノやサービスの拡大、技術の向上
- ・地域内産品が選択されるための付加価値づくり、品質の向上、ピーアール
- ・研究会への参加

【基本計画関連施策】

- | | | | | | | |
|-----|---|-----|-----|-----|-------|-------------|
| 第4章 | — | 第2節 | — | 各施策 | | P79 他 |
| | | — | 第3節 | — | 各施策 | P81 他 |

6

チャレンジ目標①
ー人口減少時代に即した暮らしへの転換【箕輪ならではの豊かさの追求】ー

「8・5・1のスクラム」教育力向上チャレンジ

目的

8（8 保育園）・5（5 小学校）・1（1 中学校）がスクラムを組み、ふるさと箕輪を愛し、自ら人生を切り拓いていくことができる人を育てる教育を目指します。

目標

- ・ふるさと箕輪を愛し、自ら人生を切り拓いていくことができる力を持った人を育てる。

概要

今まで築き上げた特色ある教育施策をブラッシュアップしながら継続するとともに、教職員の授業力向上のための研修など、子どもの能力向上を下支えする教育の“本丸”を攻める各種取組みを実施します。

- ①「運動あそび」「英語あそび・英語学習」「読育」「食育」等ひと味ちがう箕輪の子ども育成のブラッシュアップ
- ② 長野県下トップレベルの ICT 教育（情報通信技術を活用した教育）の実施
- ③ 教職員の授業力向上のための特色ある研修システムの構築
 - ・教育先進地への教職員派遣研修・外部指導教員の招聘しょうへい
 - ・教育先進自治体との教育連携協定の締結の検討
 - ・小中学校研究主任の定例研修会等、全学校が目的や手段を共有して授業力を向上させるための取組み
- ④ 全ての子どもの教育機会の確保
- ⑤ 保育園、小中学校の自主的な取組みを支える財源措置 他

町民の役割



『私』ができること

- ・学校ホームページや広報誌の閲覧、地域公開授業の参観等箕輪町の保育園・学校教育の取組みに興味関心を持つ



『みんな』でできること

- ・保護者会、PTAをはじめ、地域住民として保育園、小中学校の活動を応援する取組みを行う



【基本計画関連施策】

第6章 ー 第2節 ー 各施策 P94 他

7

チャレンジ目標①
ー人口減少時代に即した暮らしへの転換【箕輪ならではの豊かさの追求】ー

「世界に誇るセーフコミュニティのまち」安全・安心チャレンジ

目的

「地域の絆、協働、継続」をキーワードに、セーフコミュニティ国際基準による徹底した安全・安心の追求により、“心安らぐ豊かな暮らしができるまち箕輪”を目指します。

目標

- ・セーフコミュニティアンケート調査「箕輪町の暮らしは、総じて安全だと思いますか」に対する「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答える人の割合の増加（平成27年度（2015年度）結果：72.0%）
- ・セーフコミュニティ国際認証の再認証

概要

町民が、箕輪町の暮らしに対して安全・安心だという実感を高めるための取組みを進めます。

- ①「衣、食、住」分野へのセーフコミュニティ（安全・安心のまち）宣伝
- ② 保育園児等への危険予知トレーニングの導入
- ③ 通学路の安全設備の設置とグリーンベルトの設置
- ④ 新たにセーフコミュニティのモデル企業、モデル保育園を設置
- ⑤「あいさつで広げよう地域の絆」をテーマにセーフコミュニティ活動を全町に展開
- ⑥ ふるさと応援寄附金に「安全・安心のまちづくり」への寄附枠を創設 他

町民の役割



『私』ができること

- ・セーフコミュニティに関心を持つ
- ・あいさつを心がける
- ・交通安全、防犯、防災に気を付ける
- ・通学パトロールをはじめ各種団体の取組みに参加する



『みんな』でできること

- ・企業としてセーフコミュニティの取組みに協賛・協力をする
- ・みんなで交通安全・防犯・防災の活動に取り組む
- ・各区のセーフコミュニティ推進協議会の活動に取り組む
- ・PTA や区として通学路危険個所の点検に協力する
- ・通学パトロール隊の活動を行う

【基本計画関連施策】

第1章	ー	第2節	ー	各施策	・・・・・・・・・・・・・・・・	P54 他
第5章	ー	第2節	ー	施策1	・・・・・・・・・・・・・・・・	P87

8

チャレンジ目標①
—人口減少時代に即した暮らしへの転換【箕輪ならではの豊かさの追求】—

「復活！向こう三軒両隣」地域の絆再生チャレンジ

目的

団塊の世代が75歳以上に到達する平成37年（2025年）を目途に、支援や介護が必要となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることが出来るよう、住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指します。

目標

- ・高齢者が生きがいをもって暮らせる
- ・身近な地域で元気に暮らせる
- ・認知症になっても地域で安心して暮らせる
- ・地域で支えあって暮らせる

概要

高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるための地域内での支援体制づくりを進めます。

- ① 介護保険制度改正に対応し、要支援者と要支援状態となる恐れのある高齢者に、介護予防と日常生活への支援を切れ目なく提供する新しい制度と運用
- ② 要介護状態となることを予防する取組みの支援と普及
- ③ 多種多様な高齢者の暮らしのニーズに対応できる支え合いの仕組みづくり
- ④ 地域の実情にあった支援体制を検討する機会の提供
- ⑤ 医療・介護の連携による安全・安心な在宅生活の定着
- ⑥ 認知症になっても安心して暮らせる地域づくり 他

町民の役割



『私』ができること

- ・自分の健康を管理し、10年後の自分をイメージしてライフプランを持つ
- ・地域の行事やサークル活動に積極的に参加して、仲間や顔の見える関係をつくる
- ・ボランティア活動に関心を持つ



『みんな』でできること

- ・隣近所の声掛け
- ・地域の住民グループでの見守り
- ・近所のお年寄りの見守り
- ・認知症の人を地域全体で見守る
- ・困ったときの支え合い



【基本計画関連施策】

第1章	—	第1節	—	各施策	P52	他
第2章	—	第5節	—	施策1	P68	

9

チャレンジ目標②
ー将来の暮らしやすさを守る人口規模の維持【人口の自然増】ー

「幸せのまち“みのわ”」ハッピーサポートチャレンジ

目的

若者同士がつながる機会をつくとともに、結婚を希望する人の願いが叶うまちづくりを地域全体で進めます。

目標

- ・交際・成婚者数の増加
- ・ハッピーサポート登録者数の増加
- ・若年層を中心としたイベント・グループ等の参加者増加

概要

ハッピーサポートみのわを中心とした新たな取組みにより、若者同士がつながり、また結婚の希望が叶うまちをつくります

① 若者が参加し、つながる機会づくり

例)

- ・イベント開催（レクリエーション・若者ふれあいの旅・ワークショップ等）
- ・上伊那結婚推進協議会等との合同イベント開催（突撃！田舎にお嫁に来ませんか等）
- ・サークル活動、同級会等の開催支援

② 出会い応援サポーターの拡大

③ 町内でのモデル挙式等イメージアップ事業

④ 若者を雇用する町内事業所との連絡会の設置

⑤ 長野県の取組みとの連携（ながの結婚マッチングシステム利用促進・ながの出会い応援プロジェクトとの連携事業） 他

町民の役割



『私』ができること

- ・様々なイベントやサークル活動等に参加する
- ・一緒に楽しめる同世代の仲間づくりをする
- ・異性との出会いや結婚に興味を持つ
- ・周りの人の出会いや結婚が進むようおせっかいを焼く



『みんな』でできること

- ・企業として従業員のプライベートの充実に協力する
- ・職場の仲間や、サークル等でイベント等に参加して輪を広げる

【基本計画関連施策】

第3章 ー 第1節 ー 各施策 P71

10

チャレンジ目標②
ー将来の暮らしやすさを守る人口規模の維持【人口の自然増】ー

「目指せ！子育てユートピア」子育て安心チャレンジ

目的

安心して出産し、子育てしやすい環境を整えることで、子どもを産む人の希望が叶えられるまちづくりを進めます。

目標

- ・生産年齢人口に占める年少人口割合：22%（2025年）
- ・合計特殊出生率：1.80（2025年）

概要

安心して出産でき、子育てしやすい環境づくりのため、各種取組みを進めます。

- ① プレママ・親子交流広場
- ② 情報発信アプリ「電子結婚・子育て手帳」開発・普及
- ③ 子育て利用券の配布（既存の利用券事業の拡大）
- ④ 企業・団体との連携・協力
- ⑤ 産科・助産所等医療機関設置補助
- ⑥ 子育て・教育包括支援センターの設置 他

町民の役割



『私』ができること

- ・地域の子育て情報を積極的に利用する
- ・子育てサークル、子育て広場等の活動に積極的に参加する
- ・周りの人に子育てに関する施設やサービスの情報を広める



『みんな』でできること

- ・企業として従業員の子育て環境の充実を図る
- ・妊産婦や子どもを大切に見守る
- ・子育てに関するボランティア活動等に積極的に参加する



【基本計画関連施策】

第3章	ー	第2節	ー	各施策	P72		
		ー		第3節	ー	各施策	P73
		ー		第4節	ー	各施策	P74

13

「資源と人の循環づくり」緑のエネルギー活用チャレンジ

目的

環境事業への公共投資により、循環型社会の構築を進めるとともに、経済の活性化と雇用の創出を目指します。

目標

- ・ごみの再資源化：500t/年
- ・温室効果ガス排出量の削減

概要

自然エネルギーの利用や、廃棄物の再資源化などの環境事業を、経済の活性化、雇用の創出につなげるための調査研究を行い、研究結果に基づく事業を実施します。

- ① 調査研究
- ② 実施事業
(カーボンオフセット、小水力発電の普及援助、生ごみたい肥・BDF 販売・水素エネルギーの普及拡大など)
- ③ 効果促進 (講演会・商談会・普及イベント)
- ④ 箕輪町自然エネルギービジョン改訂 他

町民の役割



『私』ができること

- ・資源循環や自然エネルギー利用に興味・関心を持ち、省エネに取り組む
- ・廃油・生ごみ回収に協力
- ・再資源化された製品を利用する



『みんな』でできること

- ・企業として取組みに参加
- ・自然エネルギー研究団体の設立と運営



【基本計画関連施策】

第1章	ー	第3節	ー	施策1	P56
第4章	ー	第1節	ー	施策3	P77

15

「Made in Minowa 2025」商工業活性化チャレンジ

目的

産学官金連携等、多くの関係団体が連携した新たな取組み等により、商工業を活性化させ、経済活性化や雇用創出を進めることを目指します。

目標

- ・昼夜間人口比率：1.0 以上を維持

概要

商工業を担う事業者同士や、行政・学校・金融機関等多くの関係団体によるネットワークをつくり、「Made in Minowa」となる、付加価値の高い製品・商品・技術の開発や、人材育成、起業支援等を進めます。

- ① 関係団体による地域ネットワークづくり
 - ・事業者間の連携の促進
 - ・事業者・学校等が連携した製品・商品・技術の開発・人材育成
 - ・商工会・金融機関等と連携した経営相談、資金調達支援等
- ② 資源・企業・商品の付加価値を高める情報発信
 - ・町内の資源・企業・商品の情報発信充実により付加価値を高める（ブランド化）
- ③ 起業や設備投資、研究開発を促す各種助成事業の実施 他

町民の役割



『私』ができること

- ・町内の企業の製造品や活動に関心を持つ
- ・就職活動にあたって、箕輪町内の企業から就職先を探す



『みんな』でできること

- ・企業や関係団体で幅広いネットワークをつくり商工業活性化に取り組む

【基本計画関連施策】

第4章	ー	第1節	ー	各施策	P77
				第2節	ー	施策3, 4 P80
				第3節	ー	各施策 P81 他

16

チャレンジ目標②
ー将来の暮らしやすさを守る人口規模の維持【人口の社会増】ー

「町民みんながセールスマン」箕輪町知名度向上チャレンジ

目的

移住・定住促進、観光客の誘致、町内製造品の販売の拡大、町民の誇りの醸成等、様々なものにつながる箕輪町の知名度の向上を図ります。行政のみならず、町民や箕輪町に想いのある方みんなで、町の良さを統一感を持って発信していこうという機運を高めます。

目標

- ・知名度（ブランド力・認知度）の向上・交流人口の増加

概要

行政と町民、町に想いがある方が、一緒になって、町の知名度を上げる情報発信を進めるとともに交流人口の増加を図ります。

- ① 地域資源の発掘と磨き上げ
 - ・（有名人・フェンシング・駅伝・もみじ・赤そば等）
 - ・（農産物・工業品等）
- ② 統一的ブランド戦略の策定・統一ロゴ開発等
- ③ 情報発信媒体の整備
- ④ 情報発信（農産物モニター・SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）利用・イベント・メディア活用等）
- ⑤ みのわファンクラブ
 - ・個人（SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）・口コミ）、お店等（看板の設置など）
- ⑥ 観光施設等の交流拠点の強化
- ⑦ 箕輪から世界に羽ばたくスターの応援 他

町民の役割



『私』ができること

- ・町の情報に興味関心を持つ
- ・口コミ、SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）投稿で協力
- ・ファンクラブに登録する
- ・町出身の有名人を応援する



『みんな』でできること

- ・企業、団体として協賛した取組みを進める

【基本計画関連施策】

第1章	ー	第1節	ー	施策5, 7	P53		
			ー	第4節	ー	施策1	P59
第4章	ー	第3節	ー	施策2	P81		

17

「好きですみのわ！」ふるさと愛着応援チャレンジ

目的

全ての町民が地域への愛着を高めるとともに、子どもにとって、将来の居住地の選択につながる地域との絆をつくることを目指します。

目標

- ・若年者を対象としたアンケート「将来箕輪町に住みたいですか」に対する「住み続けたい」「一度出てみず戻って住みたい」割合：70%以上

概要

広報、学校教育、社会教育等様々な機会町民が箕輪町の魅力を知る取組みを進めます。また、活動を通して、地域の人々が交流を深めることで一体感や仲間意識を築き、箕輪町が一層好きになる取組みを行います。

- ① シティプロモーション
- ② ふるさと箕輪学
 - ・小中学校における学校行事・総合的な学習の時間等
 - ・箕輪町の歴史文化を学ぶ特別展・講座・フィールドワーク
 - ・テキストの開発とみのわ検定
- ③ キャリア教育
 - ・キャリア教育支援員の配置 他

町民の役割



『私』ができること

- ・町の人、歴史、文化、景観等に関心を持つ
- ・取組みを理解し、イベント等に積極的に参加する
- ・自分の体験を、子・孫・友人等に伝える



『みんな』でできること

- ・キャリア教育職業体験学習の受け入れ先として協力する



【基本計画関連施策】

第1章	ー	第1節	ー	施策5	P53
			ー	第4節	P59
第6章	ー	第1節	ー	各施策	P93
			ー	第3節	P96 他

みんなで創る、未来につながる、暮らしやすい箕輪町

人口減少時代への挑戦“箕輪チャレンジ”

重点プロジェクト

基本計画

第1章 人の「Wa!」が輝くまち

目標 常会加入率
(2015年) (2025年)
71.8% → 80%
以上

- 第1節 人のつながりと協働のまちづくり
第2節 安全・安心の推進
第3節 快適な生活環境の整備
第4節 理解され信頼される行政経営

第2章 支え合い、健やかに心豊かに暮らせるまち

目標 平均寿命と健康寿命の差
(2010年)
実績値から 縮小
男性 1.34歳
女性 2.81歳

- 第1節 地域ぐるみの健康づくり
第2節 安心して医療が受けられる医療体制づくり
第3節 共に生き、支え合う福祉のまちづくり
第4節 障がい者が共に暮らせるまちづくり
第5節 高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らせる体制づくり

第3章 「家族になろう」といえるまち

目標 年少人口/生産年齢人口
(推計値) (2025年)
21.1% → 22.0%
以上

- 第1節 出会い・結婚の支援
第2節 妊娠・出産の支援
第3節 育児・子育て支援
第4節 地域で支える子育て環境づくり

第4章 産業が輝き、働く場所に恵まれたまち

目標 昼夜間人口比率
(2010年) (2025年)
1.0 → 1.0
以上

- 第1節 雇用の創出と人材の育成
第2節 産業の活性化
第3節 輝く産業の育成

第5章 住みやすい都市基盤をみんなで作るまち

目標 住宅新築戸数
(推計値) (2025年)
60戸 → 60戸
以上

- 第1節 景観や自然環境の保全・育成と、調和のとれた開発
第2節 安全性・利便性に配慮した住民満足度の高い都市基盤整備
第3節 協働・住民自治による持続可能な都市基盤の維持・整備

第6章 学び合い、共に育てるふるさとのまち

目標 若年者の町内暮らし希望率
(2014年) (2025年)
70% → 70%
以上

- 第1節 地域への愛着と誇りを育てる教育の推進
第2節 自己肯定感をもち、創造的に生きていく教育の推進
第3節 社会とのつながりをもち、学び続ける教育の推進

区の将来像

沢区

大出区

八乙女区

下古田区

上古田区

中原区

松島区

木下区

富田区

中曽根区

三日町区

福与区

長岡区

南小河内区

北小河内区

